【概要・目的】

- ・医療に関する裁判例を検討する。
- ・具体的な裁判例を題材に、法的問題の所在を示し、対立する利益を明らかにして望ましい解決を模索していくことで、紛争における法的問題点を理解できるようになること、法的なものの考え方を理解できるようになることを目的とする。

【到達目標】

- ・紛争事案において法的に問題点を整理することができる。
 - ・法的なものの考え方ができる。
-

【授業内容・スケジュール】

- 第1回 ガイダンス
 - 第2回 医療に関する裁判例研究
 - 第3回 医療に関する裁判例研究
 - 第4回 医療に関する裁判例研究
 - 第5回 医療に関する裁判例研究
 - 第6回 医療に関する裁判例研究
 - 第7回 医療に関する裁判例研究
 - 第8回 医療に関する裁判例研究
 - 第9回 医療に関する裁判例研究
 - 第10回 医療に関する裁判例研究
 - 第11回 医療に関する裁判例研究
 - 第12回 医療に関する裁判例研究
 - 第13回 医療に関する裁判例研究
 - 第14回 医療に関する裁判例研究
 - 第15回 まとめ
-

【評価】

レポート発表の内容（70%）、ディスカッションへの参加状況（30%）により評価。

【テキスト】

- ・甲斐克則・手嶋豊編『医事法判例百選〔第3版〕』（有斐閣, 2022）
-

【推薦参考図書】

- ・授業の中で適宜紹介。
-

【その他】

授業は、十分な事前学習を前提に進行し、ゼミ形式による担当者の発表とディスカッションの方法によるものとする。事前学習として、授業で取り上げる裁判例に関する事案の内容、法的論点、関連裁判例、実務上の取扱いなどについて、判決文、関連条文、テキスト、参考文献などを確り読み込んで整理し、発表の準備をしておくことが求められる。また、事後の学習として、授業内容を復習整理し、紹介された参考文献などで理解を深めることが求められる。